

2006年度前期 有志の講話

国立大学法人 群馬大学工学部機械システム工学科
助手 船津 賢人

1) 概要

時間 金曜日 20:40～21:10 (講義終了後に希望者を募る)
対象 M科夜間主コース2年生(約25名;うち2名は生物化学工学科学生)
目的 目標を持った大学生生活を送るための情報を発信すること。
群馬大イズムを醸成すること。
話者 M科OB12名、大学院生2名、研究生1名、教員1名 合計16名
(13回)

2) アンケート結果 (アンケート回収枚数24枚、アンケート日出席者25名)

A) この講話はどうでしたか?

<input type="checkbox"/> 満足	13名
<input type="checkbox"/> やや満足	11名
<input type="checkbox"/> やや不満	0名
<input type="checkbox"/> 不満	0名

B) A) の理由を具体的に記載してください。

(注意) できるだけ「原文」に忠実に記載してあります。

- ・いろいろな企業の方の話しをきけてよかった。仕事も機械科でもいろんなとこにしゅうしょくしているようなので、これから自分もいろいろ考えていきたい。
- ・いろいろな分野でかつやくしている人の話が聞けて大変ためになった。
- ・大人の人の話がきけてよかったです。いいさんこうになりました。
- ・学生時代には遊ぶことも必要という事が何人の方からもあって自分も遊ぶことも必要だなと感じたことと、様々な人の意見を聞いて視野が広がった点でとても満足しました。
- ・いろいろな話を聞けたし、広い視野で自分を見つめ直すのも大切だと思った。
- ・実際に機械システム工学科を卒業して社会に出てる人がどのような仕事をしているのかが、分かってよかった。学生の内に何をすればいいのか勉強になった。
- ・全体を通して「大学生のうちにやっておいた方がいい事」が非常に参考になりました。自分が今まで深く知らなかった分野が多く面白かったです。ただ、授業後の一時間の話

があったので「やや満足」を選びました。

・おもしろい話が聞けるし、就活の時に役に立つ話が聞けたので満足。たまたま、話の内容がよく分からず、おもしろくない時があった。

・社会人の人のレベルの高さを身にしみて感じる事ができたから。

・実際に社会に出て働いている人の話を直接聞いたことで、イメージとしてしかなかった就職というものにちょっと近づいたように思います。

・楽しかった。S社がどんな会社か少しわかったし、しゅうかつのかたくるしいイメージがかわった。

・就職の事で不安に感じているところをOBの人の話を聞くことで少しは解決しました。

・時間の関係であまり最後まで聞くことはできなかったが、分かり易く説明して大学の勉強が就職してからどのように役に立つのかが分かりためになった。

・最高におもしろかったぜ！！

・いろいろな人の話が聞いてよかったが、プレゼンのわかりにくい人がいたため。

・前半は同じような内容が多かった。後半は様々な職種の人のお話を聞くことができた。

・もっとよく聞きたかったが、電車の関係上長く話をきけなかったのが残念だった。

・いろいろな話が聞いて参考になった。

・毎回違った職業の人達が来てくれたので、色々な職業が分かってとてもよくわかりました。

・会社でやっていることをわかりやすく話してくださったので良かった。

・基礎から応用までちゃんと理解できるので。社会人の人が話をしてくれるのは本当に助けになります。

・授業内容がわかりやすかった。

・さまざまな会社のことを聞いて楽しかった。

・様々な企業の方が来てくれて刺激になりました。

C) 感想や要望などがあれば自由にお書き下さい。次回があれば改善します。

(注意) できるだけ「原文」に忠実に記載してあります。

・これから自分がどうゆう仕事をしていこうか、これから深く考えて行きたい。

・このような機会は他の授業ではないと思うので、これからも続けて行ってほしいと思う。

・I社とF社の人が多かったのもっといろいろな人のはなしがきけるといいかもしれません。学校の先生とか、ちがうぎょうしゅのしごとをしてる人のはなしもきけるといいです。

・特に改善する必要はないと思う。

・この企画をこれからも続けて欲しい。

・メガネはもっと派手なものが良かったヨ

- ・ 船津先生の話も聞きたかった。
- ・ 自分がなりたい職業以外の職業もわかったので毎年続けていったほうがいいと思います。
- ・ 自分が会社に対するイメージ通りだった。
- ・ なし
- ・ 話が長い

D) 何か質問などがあれば記載して下さい。講話担当者に連絡し、後日、回答します。
 (注意) できるだけ「原文」に忠実に記載してあります。

- ・ 本当に会えて良かったぜ！ありがとう♪
- ・ なし
- ・ N社のKさんに質問です。N社に就職される方で、整備士の資格を持っている方はどのくらいいますか。また、一級整備士への自動車メーカーの評価はどのようなものですか？

3) 講話風景







4. まとめ

昨年度に引き続いて同様な企画を行いました。昨年度は講話日が水曜日でしたが、今年度は金曜日に行いました。有志の講話を通じて、少しでも群馬大学の学生達が目標をもった大学生活をおくってくれることを信じて、来年度も同様な企画を行う予定です。

『学生達はその時代その時代を彼らなりに敏感に感じています。形は異なりますが、彼らなりに岐路に立ち、模索していると思います。それは、我々教員が想像できる形ではないかも知れません。そんな学生達に対して、我々教員が出来ることは、各自が持てる限りの叡智を絶え間なく、こつこつと伝承していくことにあるのではないのでしょうか。そして、そんな雰囲気作りが、今の大学には必要なのかも知れません。』

5. 謝辞

遠路にも拘わらず、しかも無償で、快く講話を引き受けてくださった講話担当者の皆様にこの場を借りて、厚く御礼を申し上げます。また、TAとして活躍いただきました修士1年生の後藤輝一（ごとう・きいち）君をはじめ、群馬大学 工学部 機械システム工学科 エネルギーシステム工学講座第1研究室 極超音速空気熱力学研究チーム（HART）の学生諸君に深謝いたします。

本報告書の無断転載を禁じます。転載をご希望の方は、群馬大学工学部機械システム工学科 船津 賢人（mfunatsu@me.gunma-u.ac.jp）までご連絡下さい。